

近畿 化学工業界



近畿 2008 9

京の路地と町名看板

ふじ た しん さく
藤田眞作

(湘南情報数理化研究所)

町名看板は街角文化財

京都には学生のときの十年間と五十歳代の十年間、あわせて二十年間住みました。後半の十年間は、健康保持のため京都の街中を歩きまわりました。この時に興味をもったのが森下仁丹の町名看板で、町名の由来を調べながら旧跡を訪ねておりました。

森下仁丹の町名看板は設置後八十年以上経っていますが、今なお現役であり続けています。他のスポンサーの看板よりも古いのに、その堅牢な作り(多くは珐瑯引きの鉄板製)ゆえに劣化が少なく、むしろ新しく見えるくらいです。今や、一企業の宣伝媒体というより「街角文化財」といえる地位を占めているといえるでしょう。京都から神奈川の片田舎に蟄居してから、当時を思い出しつつ「仁丹の町名看板をよすがに京めぐり」という探訪記を書いています(わたしのホームページ <http://xyntex.com/kyomeguri/> からダウンロードできます)。その中から、「これこそ京都」(あくまでも、わたしのようなよそ者

の感覚ですが)といえる路地(ろーじ)のいくつかを紹介することにしましよう。

膏藥図子(こうやくのずい)

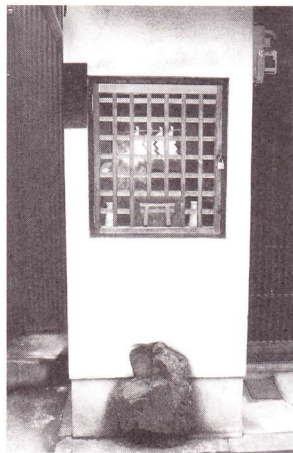
京都の路地には二種類あって、厳密ではないようですが、袋小路になっているものを狭義の路地と呼んでいるようです。通り抜ける路地は、一般に「すじ」と呼び、図子あるいは辻子と書くようです。



膏藥図子と町名看板(→P.8 通りの位置関係④)

図子の中で、特別に古く有名なものが「膏藥図子」(こうやくのずい)です。なにせ、一七八〇年(安永九年)に出版された『都名所図会』にも「膏藥道場(かうやくのだうぢやう)といふは、むかし四条の南、新町と西洞院の間にあり、今、膏辻子(かうやくのつぎ)といふ」と載っているくらいですから。「膏藥道場」は空也上人が開いたとされ、「空也供養道場」がなまったものといわれています。なお、『都名所図会』では、他の箇所でもそうですが、「辻子」を「つぎ」と読んでいます。

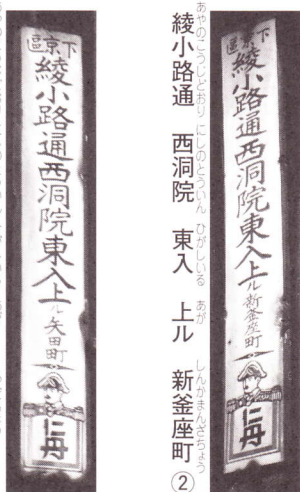
膏藥図子は四条通から入ると、途中で鉤形に折れ曲がっていて、最後は綾小路通に抜けるようになっています。四条通から入った南北部分中ほどの西側壁面に、「神田神宮」という銘板のかかった小祠があります。銘板には「天慶年間平将門の首を晒したる所也」と書いてあるのが目くありげです。小さな祠でも、あなどってはいけません。実は、『拾遺都名所図会』(『都名所図会』の続編、一七八七年刊行)にも「平将門社(たいらのまさかどのやしろ)」として由来が載っているのです。



神田神宮

この図子には、もう一つ、特筆しなければならぬことがあります。この短い区間に、驚くなかれ、五枚もの町名看板が貼つてあるのです。四条通から入ると、東西部分に貼つてあるのは、「綾小路通新町西入上 新釜座町」①(木製の町名看板です。次いで、綾小路に出る南北部分の東側に「綾小路通西洞院東入上 新釜座町」②の町名看板。同じ新釜座町ですが、基準の通りのとりかたが異なっています。新釜座町は、膏薬図子の北側の両側町になっています。

町名看板②の少し南、東側の壁に「綾小路通西洞院東入上 矢田町」③。さらに南下すると、綾小路側の図子入口の西側に「綾小路通西洞院東入上 矢田町」④があり、東側に「綾小路通西院東入上 矢田町」⑤(「洞」が抜けています)があります。矢田町は、綾小路通の両側町です。③④⑤は、同じ基準で同じ町名です。



綾小路通 西洞院 東入 上 矢田町 ③

綾小路通 西洞院 東入 上 新釜座町 ②

五枚の町名看板の中から代表として、町名看板②と③の写真を載せておきましょう。

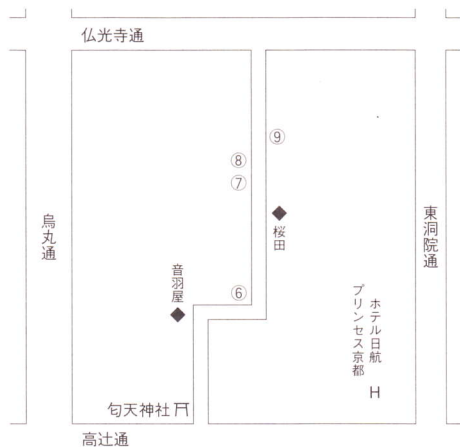
町名看板②と③は、基準の通りは同じですが、町名が異なっています。この二枚の町名看板の間に、新釜座町と矢田町の境界があることが実地に示されています。新釜座町は明治時代になって命名されており、由来はよくわかりません。江戸時代は、一貫して膏薬辻子(こうやくのすじ、こうやくのつじ)と呼ばれているようです。矢田町は、矢田寺(矢田地蔵)がこの地にあったことに由来。矢田寺は、天正十八年(一五九〇年)に、豊臣秀吉の京都改造にともなって、現在地の寺町通三条上ルに移転しています。現在、矢田町は「やだ」と濁って読みますが、矢田寺は「やだ」と清音で読むようです。

膏薬図子から綾小路通へ抜けた東側は、杉本家住宅(京都市指定有形文化財)です。京格子、出格子、虫籠窓(むしごまこ)など、京町家の典型的な外観です。杉本家は、祇園祭の際には、「伯牙山(はくがさん)」のお飾り場になり、屏風、祭に使われるご神体、豪華な懸装品(けそうひん)などが飾られます。「伯牙山」は、周時代、琴の名手伯牙が、その友人の死に際して、真に聴いてくれる人がもういないと嘆いて、琴を壊したという故事にちなんでいます。

匂天神町

高辻烏丸の交差点から東へ、高辻通の北側の歩道に面して、ビルに埋め込まれた小祠があります。これが、このあたりの町名「匂天神町」(においてんじんちょう)の由来となった匂天神社(においてんじんしゃ)です。読み分けは、「匂天神社」ではなく、「匂天神・社」です。祭神は菅原道真で、江戸中期には洛陽天満宮二十五社の一つに数えられていましたが、今は写真で見える通り、鉄格子の中に閉じ込められています。

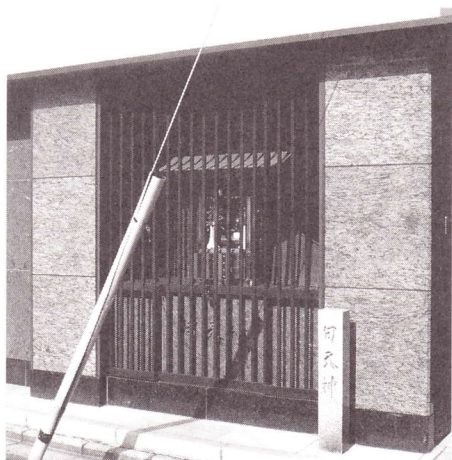
『都名所図会』には、「匂天神社にほひのてんじんやしろ」は東洞院と烏丸の間、高辻の北にあり、竹之辻子(たけのつじ)といふ、清香庵(せいかうあん)と号す。」と記載されています。「竹之辻子」という名前はもはや廃れてしまいましたが、この図子自体は、現



匂天神町と町名看板(→P.8 通りの位置関係⑧)

在も、『都名所図会』の記述そのままに残っています。

この図子も、町名看板の宝庫で、四枚も町名看板が残っています。句天神社のある高辻通から、図子を北へ進み、鉤形に折れますと、図子の東西部分の北側、植木の陰に、町名看板「高辻通烏丸東入上ル句天神町」⑥があります。さらに、北へ曲がりますと、南北部分の西側二階に、「佛光寺通烏丸東入下ル句天神町」⑦の看板があります。この二つの町名看板は、同じ句天神町の町内です。町名看板⑦の貼ってある町家の北隣、レストランの一階部分には、今度は「佛光寺通烏丸東入下ル上柳町」⑧の看板があります。町名が変わって、「上柳町」。したがって、この箇所が、句天神町と上柳町の境界です。ところが、さらに北へ進むと、向かいの東側の並びに、「佛光

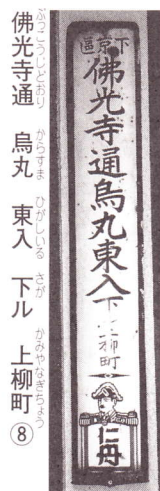


句天神社

寺通烏丸東入下ル句天神町」⑨の町名看板。この看板の町名は、もとに戻って「句天神町」。図子の通りの東西で境界の位置がずれていることが実地に示されているわけです。



佛光寺通 烏丸 東入 下ル 句天神町⑦



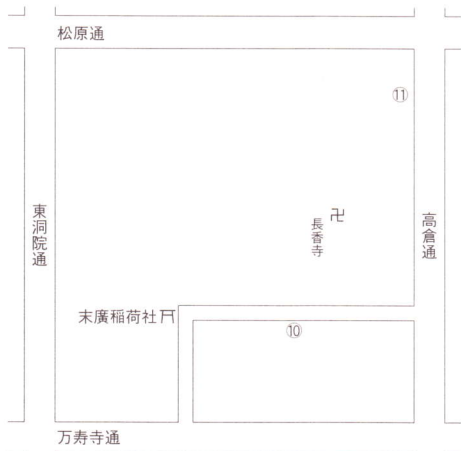
佛光寺通 烏丸 東入 下ル 上柳町⑧

句天神町の図子に高辻通から入って、最初に突き当たったところ、西側に和菓子屋「音羽屋」があります。おすすめは、名物「赤飯まんじゅう・白梅」。銘「白梅」は、もちろん句天神に由来。赤飯を饅頭の皮で包んで栗を載せて蒸したものです。甘さ控えめの饅頭で、お茶なしでも食べられる上品な味。グルメのためにはなにをもちとわなにかたには、仏光寺通から入った南北の通路東側に懐石料理「桜田」。

福田寺町

福田寺町は、高倉通松原下ルに入口のある図子の両側町です。高倉通から入って西に歩くと、途中で折れ曲がって万寿寺通に出るようになっていきます。路地の東西部分のほどに、木製の仁丹看板「高倉通松原下ル西入福田寺町」⑩があります。「福田寺町」の町名は、もともとここにあった福田寺（現在は下寺町に移転）に由来しています。

福田寺町の通路が曲がるところに、末広稻荷社（すえひろいなりしゃ）があります。献灯には、「末廣大明神」と書いてありますが、祭神が倉稻魂神（うかのみたまのかみ）といえますから、お稻荷さんでしょう。そのそばには、福田寺町の町内案内図。



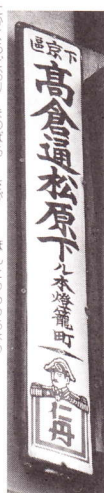
福田寺町と町名看板（→P.8 通りの位置関係◎）

芸の細かい町名表示

路地の町名表示について、町名看板⑩と比較するとちょうどよい町名看板がありますので、ついでに紹介しましょう。福田寺町の高倉通側の入口の北にある、町名看板「高倉通松原下ル本燈籠町」⑪です。町名の「本燈籠町」は、平重盛が東山小松谷に建立した燈籠堂が、後世この地に移ってきたことに由来しています。燈籠堂は、のちに浄教寺となり、天正の京都改造のときに、現在地寺町通四條下ル貞安前之町に移っています。

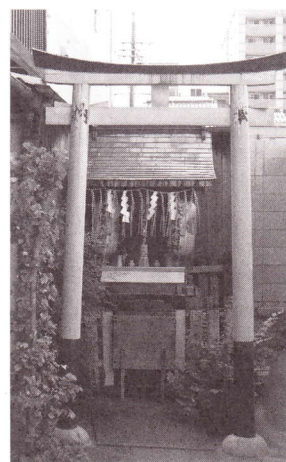


高倉通 松原 下ル 西入 福田寺町 ⑩



高倉通 松原 下ル 本燈籠町 ⑪

町名看板⑩と⑪は、基準の「高倉通松原」は同じですが、そのあとに「下ル西入」と「下ル」を加えて、細かいニュアンスの町名表示をおこなっていることがわかります。



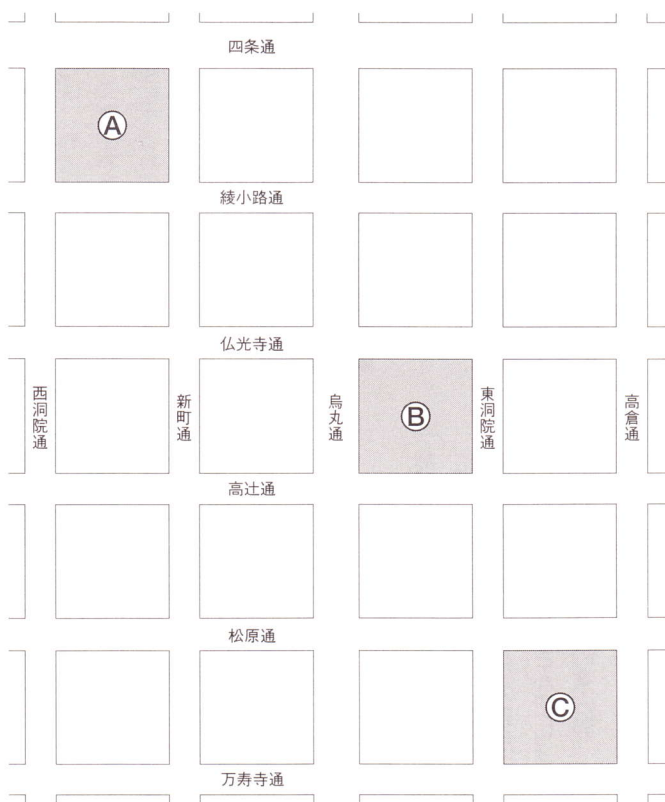
末広稲荷社

⑩では、路地の中であることを「下ル西入」のように二重の指示で示しています。一方、⑪では、単に「下ル」と指示しています。な

お、路地以外では、町名看板⑪のような書き方が、町名の標準的な表示方法です。

わたしのホームページの「仁丹の町名看板をよすがに京めぐり」は、現在第十二回まで続いています。本稿の記載を機に興味をもたれたかたは、わたしのホームページをぜひお訪ねください。

☆「仁丹の町名看板をよすがに京めぐり」
<http://xyntex.com/kyomeguri/>



通りの位置関係